

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育による児童に合わせた支援	お子さん一人ひとりの発達・行動面に合わせた個別支援計画を作成し、プログラムを組んでいます。遊びを通して、人とのコミュニケーションや達成感を体験していけるように工夫します。	障がい特性に合わせた療育内容や個別的な配慮、環境への工夫を行いお子様や保護者様が満足して頂ける様にしています。
2	保護者とのお子様へのご相談	必要に応じて相談支援を行っています(加算対象)。各関係機関との連携やこどもを取り巻く環境体制を整えること、保護者の方と交流を深め、お子さんをより理解していきます。	お気軽にご相談できる様に、日頃からお子様のご様子や家庭や学校でのご様子を確認しながら保護者様とお話させて頂いております。相談しやすいような環境や保護者様との関係作りも大切にしています。
3	小集団活動の取り組みについて	大人がこどもの気持ちに寄り添い、自分が認められる存在として実感できるように関わります。その中で他児への気持ちや関心を育む事を目指しています。	幼稚園や小学校の集団の活動で困らない様にする為に、小さい集団から少しずつ慣れて頂ける様に活動設定を充実させていきます。また早期療育の観点からも二次的な問題の予防や早期的に必要なスキルの獲得や自己肯定感も育める様に療育していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動活動や体を動かす遊びに制限が出来る	活動エリアが狭い事。1時間で4名利用された場合は、余暇エリアの大きいスペースが埋まってしまう。	狭いスペースの中でも効率よく体を動かす活動を考えて、療育が出来るように考えています。体を遊ぶ動かす活動も、順番や場所等のルールを設けて適切に遊べるようにしています。遊ぶ中でもルールの遵守することの大切さや順番を守る事をお子さまには伝えていきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 9名

回収数 78% (7名)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	0	やる事リストを毎回見る事でそのリストの名前を言葉で覚える事が出来た。靴箱にお気に入りのキャラクターを貼って頂いて自分の場所を覚え自分から靴を置ける様になった。	お子様の興味関心が物を使いながら、支援させて頂いています。好きな物があるとそこを注目して見て頂ける事が出来ます。好きな物がある場所に置くこと出来ます。少しの工夫で出来る事が増えていくので、継続しながらお子様の好きな事や物も知りながら療育させて頂きます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	1	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	1	利用したことは無いが、他の利用者の面談はとて丁寧に行われている印象を受けた。	保護者様の面談に関しては、丁寧な対応を心掛けております。少しでも困り感の解消に向けて考え実施させて頂いております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1	3			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1	0	1	相談の機会なし。	是非お気軽にご相談して頂きたいと思っております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	2	発生したことが無い。	事故が起きた際には迅速に対応していきます。保護者様へのご連絡や対応等も誠実に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0	初回の頃は泣いてしまう事が先生方の指示を聞かない事もありますが、今ではクラゼミへ出かける時期になるとウキウキ準備をしています。クラゼミでも先生方とコミュニケーションを取って楽しく成長している事がわかり親も楽しく通えています。	スタッフもお子様に対して安心して活動できる様に関わっております。スタッフも一緒にお子様の成長に携われる事は、嬉しく思います。子どもたちが楽しく通ってくれるように、療育を提供してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1	0	0	今後とも宜しくお願い致します。	今後も満足して頂け様に、お子様や保護者様に寄り添っていきたく思います。今後とも宜しくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北24条校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	1時間に利用できる人数を管理しながら場所を活用している。	現状ギリギリの為これ以上はスペースが必要イベント時には人数が多い為、1人1ブースが難しい状況。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	人員基準を満たして運営している。	1対1で適正と思うが子によってはお子様1人に対して2人に対応しても良いと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	段差がない為、移動はしやすい。	利用児童が運動するためには少し狭く感じる。待合室が無いので保護者様が待機する際は床に座る事があるので申し訳なく思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	散らかしてしまったり、汚してしまった際には片付けを行い適切に処理している。お子様に合わせた環境整備を行っている。	スペースが狭く、運動時にぶつかりそうになる事がある。活動が制限されてしまう。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別でのブースを活用している。	支援数によっては個別のスペースが空いていない事がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	個別支援計画を6か月ごとに行っている。	PCDAサイクルの理解が深まっていない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年意見を聞き反映させている。定期的に親御さんに意向を確認するように心掛けている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員間でも引継ぎを行っている。運営会議やイベント会議を定期的に行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者による評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	社内研修は多く開催している。会社で支援の向上の為に研修を定期的に行っている。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2		まだ公表していない。支援プログラムの公表に関しては一部のスタッフしか理解していない現状。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	定期的のアセスメントを行っている。お子様の課題や保護者からのニーズを大切にしながら計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	会議の機会を設けている。計画を作成の際には、スタッフからご本人の様子や状況を確認して整理をして作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個人のファイルに保存して誰でも見られる様になっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	幼児さんは変化が多い為、常に状況を把握している。会社のアセスメントツールを活用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ニーズに応じて対応している。ガイドラインを共有している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動のプログラムに関しては、ある程度の共通理解の元に作成している。	活動のバリエーションが増える様に、情報提供や交換をしながら、良い案を作成していく必要がある。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	工作の内容や運筆や運動等日によって異なるプログラムを行っています。 小集団活動を設けている。 固定しない様に材の工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団と個別の両面で支援に取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	その日の前には引き継ぐ様にしている。 イベントの際には打合せを行っている。 チームで支援が必要な時には一緒に役割分担を行い、子ども達が安全に過ごせるよう支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	他のスタッフにアドバイスをもらい、支援内容を見つめなおしている。 小集団活動には振替を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	社内ツールを活用して記録している。 記録の記載に関しては徹底して取り組んでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	現状ニーズがない。	機会がない状況。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	現状ニーズがない。 協力医療機関との繋がりはある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保育園や幼稚園と連携して情報共有を行っている。 親御さんにご要望に応じて各種関係機関と連携している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	ご要望に応じて対応しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		現状連携して児童発達支援センターと連携を図る機会がない。必要に応じて対応している。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	フィードバック時に活動の様子や本人の様子をお伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	座談会を開催している。	教室内には外部のお知らせを掲示しているが、事業所内では行っていない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用契約時にご説明している。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	本人の様子を親御さんの意向を踏まえて計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	更新の際には親御さんに丁寧に説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	悩みがあった際には時間を設けて相談の対応を行っている。 定期的に親御さんにお話を伺っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	4月に保護者様を招いて座談会を実施した。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	何かあった時にはすぐに対応できる様に職員間で共有している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPやinstagramで情報の発信を定期的に行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きのロッカーに保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	連絡帳を活用して親御様とコミュニケーションを図っている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	イベントについては広く周知している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成している。 各種マニュアルを整備しており、実際の発生場面を想定した訓練も行っている。訓練に参加したお子様にも必要性についてわかりやすくお話ししている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に訓練を行っている。 定期的に備品の確認も行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	子について事前に周知されている。 フェイスシートに記載して頂いている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	3	3	事前に保護者様から留意点を頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	定期的に研修に参加し職員に共有している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	利用契約時に取り組みについてご説明させて頂き、理解して頂いている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事故がある際はケース会議を行い対応している。 事案が発生した場合は書類を作成している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的な研修に参加している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	親御さんの同意を得たうえで対応している。		